

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	Java文法 I		石井 眞木子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

プログラムの基幹となる部分の文法を理解しアルゴリズムに基づいた簡単なプログラムを作成し、コンパイル実行する。構造化プログラムの基本3構造に必要な制御構造(if else, for, while)を理解する。

【講義概要】

データ型として数値型、文字型および文字列の扱いについて理解を深める。また、配列の概念と利用法について具体例を基に演習し文法の理解を目指す。楽しく演習することによって学生の意欲・関心を高める。

回	授業計画及び学習の内容
1	JAVAの概要：プログラムの構成、文字列の出力、int型変数を使用した算術演算
2	変数(int型)の使用：変数(int型)の宣言、変数の出力、scanfによる変数への入力
3	選択処理その1：if文の基本的な使い方と条件式の書き方について（論理演算子，break文，片分岐）
4	選択処理その2：else による偽の場合の処理手順について（2分岐・多分岐，else if）
5	反復処理その1：for文を使った繰り返し処理
6	反復処理その2：反復の中に選択を含む処理、選択の中に反復を含む処理などの複雑な反復処理
7	中間試験
8	反復処理その3：break文、continue文、ラベル付きbreak文、ラベル付きcontinue文
9	配列その1：配列の定義、使用法、初期設定について
10	配列その2：2次元配列の定義、使用法、初期設定について
11	メソッド：メソッドの宣言と変数の有効範囲（スコープ）
12	文字の扱い：1文字が入る変数char
13	文字列の扱い：文字列の宣言と初期化、変数string、文字数の計算、文字列の比較
14	文字列中の文字の扱い：文字列中の1文字char、文字列の一部分substring
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	85%	15%				100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

電気メーカーのソフトウェア生産技術研究所においてシステム開発の上工程の自動化ツールの研究開発を行う。グループリーダー代理として、子会社との折衝を行う。

【教科書・参考文献】

スッキリわかる Java入門 第3版

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	Java文法Ⅱ		石井 眞木子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Javaプログラミング言語を利用してオブジェクト指向プログラミングの手法を勉強する。Java文法Ⅰに引き続き、クラス、継承およびコンストラクタについて学びJavaらしいプログラミングを理解する。

【講義概要】

Java文法Ⅰに引き続き配列、メソッドを学ぶ。その後クラス、継承といったオブジェクト指向プログラミングを理解する。さらにウィンドウズアプリケーションの作り方も理解し、楽しみながらプログラミングの学習を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	配列その1： 配列の定義、使用法、初期設定について
2	配列その2： 2次元配列の定義、使用法、初期設定について
3	メソッド： メソッドの宣言と変数の有効範囲（スコープ）
4	クラスの基礎その1： インスタンスとオブジェクトを理解する
5	クラスの基礎その2： コンストラクタを理解する
6	クラスの基礎その3： オーバーロードを理解する
7	中間試験
8	クラスの基礎その4： static変数(クラス変数)を理解する
9	Javaアプリケーションの応用 キーボード入力やデータファイル入出力を使用したプログラム
10	Javaウィンドウズアプリケーションその1： Paintメソッドと文字列の描画1
11	Javaウィンドウズアプリケーションその2： Paintメソッドと文字列の描画2
12	Javaウィンドウズアプリケーションその3： Graphicsクラスを利用した応用的な題材1
13	Javaウィンドウズアプリケーションその4： Graphicsクラスを利用した応用的な題材2
14	Javaウィンドウズアプリケーションその5： Graphicsクラスを利用した応用的な題材3
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	85%	15%				100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

電気メーカーのソフトウェア生産技術研究所においてシステム開発の上工程の自動化ツールの研究開発を行う。グループリーダー代理として、子会社との折衝を行う。

【教科書・参考文献】

スッキリわかる Java入門 第3版

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Java演習 I		石井 眞木子	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

プログラムの基幹となる部分の文法とアルゴリズムを理解し、それに基づいた簡単なプログラムを書くことを目標とする。構造化プログラムの基本3構造に必要な制御構造 (if else, for, while) を理解させる。

【講義概要】

データ型として数値型、文字型および文字列の扱いについて学ぶ。また、配列の概念と利用法について具体例を基に演習し文法の理解を目指す。文法と平行して演習を行うことにより、学生の意欲・関心を高める。

回	授業計画及び学習の内容
1	JAVAの概要：プログラムの構成、文字列の出力、int型変数を使用した算術演算
2	変数(int型)の使用：変数(int型)の宣言、変数の出力、scanfによる変数への入力
3	選択処理その1：if文の基本的な使い方と条件式の書き方について（論理演算子，break文，片分岐）
4	選択処理その2：else による偽の場合の処理手順について（2分岐・多分岐，else if）
5	反復処理その1：for文を使った繰り返し処理
6	反復処理その2：反復の中に選択を含む処理、選択の中に反復を含む処理などの複雑な反復処理
7	プログラム演習試験1
8	反復処理その3：break文、continue文、ラベル付きbreak文、ラベル付きcontinue文
9	配列その1： 配列の定義、使用法、初期設定について
10	配列その2： 2次元配列の定義、使用法、初期設定について
11	メソッド： メソッドの宣言と変数の有効範囲（スコープ）
12	文字の扱い： 1文字が入る変数char
13	文字列の扱い： 文字列の宣言と初期化、変数string、文字数の計算、文字列の比較
14	文字列中の文字の扱い：文字列中の1文字char、文字列の一部分substring
15	プログラム演習試験2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	90%	10%				100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

電気メーカーのソフトウェア生産技術研究所においてシステム開発の上工程の自動化ツールの研究開発を行う。グループリーダー代理として、子会社との折衝を行う。

【教科書・参考文献】

スッキリわかる Java入門 第3

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Java演習Ⅱ		石井 眞木子	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Javaプログラミング言語を利用してオブジェクト指向プログラミングの手法を勉強する。Java文法Ⅰに引き続き、クラス、継承およびコンストラクタについて学びJavaらしいプログラミングを理解する。

【講義概要】

Java文法Ⅰに引き続き配列、メソッドを学ぶ。その後クラス、継承といったオブジェクト指向プログラミングを理解する。さらにウィンドウズアプリケーションの作り方も理解し、楽しみながらプログラミングの学習を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	配列その1： 配列の定義、使用法、初期設定について学びプログラミングを行う
2	配列その2： 2次元配列の定義、使用法、初期設定について学びプログラミングを行う
3	メソッド： メソッドの宣言と変数の有効範囲（スコープ）について学びプログラミングを行う
4	クラスの基礎その1： インスタンスとオブジェクトを理解してプログラミングを行う
5	クラスの基礎その2： コンストラクタを理解してプログラミングを行う
6	クラスの基礎その3： オーバーロードを理解してプログラミングを行う
7	演習試験1
8	クラスの基礎その4： static変数(クラス変数)を理解してプログラミングを行う
9	Javaアプリケーションの応用 キーボード入力やデータファイル入出力を使用したプログラムを学ぶ
10	Javaウィンドウズアプリケーションその1： Paintメソッドと文字列の描画1
11	Javaウィンドウズアプリケーションその2： Paintメソッドと文字列の描画2
12	Javaウィンドウズアプリケーションその3： Graphicsクラスを利用した応用的な題材1
13	Javaウィンドウズアプリケーションその4： Graphicsクラスを利用した応用的な題材2
14	Javaウィンドウズアプリケーションその5： Graphicsクラスを利用した応用的な題材3
15	演習試験2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	85%	15%				100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

電気メーカーのソフトウェア生産技術研究所においてシステム開発の上工程の自動化ツールの研究開発を行う。グループリーダー代理として、子会社との折衝を行う。

【教科書・参考文献】

スッキリわかる Java入門 第3版

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	ホームページ I		山田 忍	有	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

HTMLを構成するタグの役割や属性について、意味をしっかりと理解したうえでセマンティックを意識したウェブサイトが制作できるようになる。HTML/CSSの基礎を習得し、今後のWebプログラミングのための下地を作る。

【講義概要】

本講義ではウェブ制作の言語であるHTML5とCSS3の基礎を、演習を通して学習。
Webオーサリングツールの基本的な使い方についても習得する。
各回、理解度を図るための小テストも実施する。

回	授業計画及び学習の内容
1	HTML基礎 ウェブサイトの仕組み、環境構築、HTML基本構文を学ぶ
2	HTML基礎 HTMLの要素、リンクの設定、パスの指定方法を理解する
3	CSS基礎 CSS基本構文 セレクタの指定方法、プロパティを理解する
4	CSS基礎 CSS基本構文 セレクタの指定方法、プロパティを理解する
5	CSS基礎 CSSのボックスモデルを理解する
6	HTML&CSS基礎 リスト・ナビゲーションの作成方法を理解する
7	HTML&CSS基礎 フレックスボックスによるレイアウトを学ぶ 「主軸と交差軸」
8	HTML基礎 metaタグ、OGP、URLの正規化を学ぶ
9	CSS基礎 リセットCSS、CSSの設計を学ぶ
10	HTML&CSS基礎 シングルカラムレイアウトのページを作成する
11	HTML&CSS基礎 マルチカラムレイアウトのページを作成する
12	実践 Webページ制作課題①
13	実践 Webページ制作課題②
14	実践 Webページ制作課題③
15	実践 Webページ制作課題④

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	40%	40%		20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報/ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。

【教科書・参考文献】

プロを目指す人のHTML&CSSの教科書

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	ホームページⅡ		榎本 博文	有	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

HP2 Ⅱで学んだ基礎知識を元にUI/UXを意識したサイト制作を学ぶ。
HTML/CSSのみならずJavaScriptやWebAPIなども学び実践的なサイト制作を目指す。

【講義概要】

HTML・CSSに関する基本的な知識や簡単なWebページ作成能力から、フォーム・オブジェクトの動的配置など実践に近いWebサイトを作成し、Web業界では必須となる技能を学びます。

回	授業計画及び学習の内容
1	Formタグのおさらい。GETとPOSTの違い。WebApiを利用したメールの送信課題など。
2	スライダープラグインを利用したスライドショー実装
3	サイト設計などサイト公開についての準備と注意事項
4	Webサーバーソフトの種類。サーバーを用意する場合の種類、クラウドサーバーについて
5	FTPソフトを利用したデータ転送
6	サイト制作演習1
7	サイト制作演習2
8	実践演習・確認レビュー1
9	実践演習・確認レビュー2
10	実践演習・確認レビュー3
11	実践演習・確認レビュー4
12	実践演習・確認レビュー5
13	実践演習・確認レビュー6
14	総合演習1
15	総合演習2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%	20%		20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。

【教科書・参考文献】

プリント配布

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	セキュリティ I		井元 和彦	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

情報セキュリティの概念、セキュリティ管理、脅威、攻撃手法、リスク分析、暗号技術、公開鍵基盤、さまざまなセキュリティ技術の基本を知る。

【講義概要】

各回のテーマについて解説を行った後、問題演習を行う。セキュリティはそれ単独では成り立たない。ネットワークなどの他のコンピュータ技術についても理解を深めてほしい。

回	授業計画及び学習の内容
1	情報セキュリティの概念
2	情報セキュリティ管理
3	情報セキュリティ諸規定、ISMS、情報セキュリティ組織・機関、セキュリティ評価基準
4	脅威、攻撃手法 その1
5	脅威、攻撃手法 その2
6	共通鍵暗号方式
7	中間試験
8	公開鍵暗号方式、ハイブリッド暗号方式
9	利用者認証、メッセージ認証
10	電子署名
11	デジタル証明書、認証局
12	人的セキュリティ対策、物理的セキュリティ対策
13	技術的セキュリティ対策
14	セキュリティ実装技術 プロトコル、ネットワーク・データベース・アプリケーションのセキュリティ
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	20%				100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

ITワールド (インフォテックサーブ)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ハードウェア I	坂東 佑一	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験(FE)の範囲を中心に、情報科学基礎について浅く広く知識を習得し、情報系分野を専攻する学生としての礎を築く。今後のすべての授業の土台となる極めて重要な講義である。

【講義概要】

基数変換、コンピュータの構成要素、CPUの動作原理、論理回路、入出力装置といった内容を中心に浅く広く説明する。余った時間は演習問題を解く時間に当てるため、以下に示す問題集は毎回必携すること。

回	授業計画及び学習の内容
1	イントロダクション、基数変換
2	基数変換
3	基数変換、2の補数、接頭語
4	基数変換に関するテスト
5	誤差、コンピュータの構成要素、ノイマン型コンピュータ
6	記憶階層、キャッシュ、記憶素子
7	中間試験
8	シフト演算、論理演算
9	論理回路
10	CPUの動作原理と性能評価
11	割り込みの概要と分類
12	キーボードやディスプレイといった様々な入出力装置の紹介
13	磁気ディスク、RAID
14	浮動小数点
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	100%					100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

慶應義塾大学理工学部情報工学科卒(学士)、東京大学大学院学際情報学府修了(修士)
NTT研究所(2013-2015)にてクラウド基盤に関する研究、慶應義塾ITC(2015-2020)にて勤務

【教科書・参考文献】

ITワールド、基本情報技術者 科目A問題集

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ハードウェアⅡ	坂東 佑一	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験(FE)の範囲を中心に、情報科学基礎について浅く広く知識を習得し、情報系分野を専攻する学生としての礎を築く。今後のすべての授業の土台となる極めて重要な講義である。

【講義概要】

基数変換、コンピュータの構成要素、CPUの動作原理、論理回路、入出力装置といった内容を中心に浅く広く説明する。余った時間は演習問題を解く時間に当てるため、以下に示す問題集は毎回必携すること。

回	授業計画及び学習の内容
1	イントロダクション、基数変換
2	基数変換
3	基数変換、2の補数、接頭語
4	基数変換に関するテスト
5	誤差、コンピュータの構成要素、ノイマン型コンピュータ
6	記憶階層、キャッシュ、記憶素子
7	中間試験
8	シフト演算、論理演算
9	論理回路
10	CPUの動作原理と性能評価
11	割り込みの概要と分類
12	キーボードやディスプレイといった様々な入出力装置の紹介
13	磁気ディスク、RAID
14	浮動小数点
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	100%					100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

慶應義塾大学理工学部情報工学科卒(学士)、東京大学大学院学際情報学府修了(修士)
NTT研究所(2013-2015)にてクラウド基盤に関する研究、慶應義塾ITC(2015-2020)にて勤務

【教科書・参考文献】

ITワールド、基本情報技術者 科目A問題集

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ソフトウェア	高嶋 知由	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

特区基本情報対策の対象となる範囲を中心に、コンピュータ科学基礎、ソフトウェアの基礎について学習する。

【講義概要】

テキストの他、プロジェクトで図や写真を多用し理解度を深める。
毎回小テストを行い、確実な知識の習得を促す。

回	授業計画及び学習の内容
1	情報処理システムの処理形態
2	様々なシステム
3	高信頼化システムの構成
4	処理能力の評価、性能測定の技法
5	信頼性の評価
6	ヒューマンインタフェース
7	中間試験
8	マルチメディア
9	基本ソフトウェア ジョブ管理
10	基本ソフトウェア タスク管理
11	基本ソフトウェア 記憶管理
12	プログラム言語と言語プロセッサ
13	ファイル、ディレクトリ、バックアップ
14	まとめ問題演習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%	30%				100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

ITワールド（インフォテックサーブ）、基本情報過去問題

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	アルゴリズム I		川前 亘	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

フローチャートの表現方法及び基本情報技術者試験で使用する擬似言語の表記法を学ぶ。
また、基本的なアルゴリズムやデータ構造についても学習する。

【講義概要】

各種問題に対して処理要素を解説し、手順を考えさせ実際にフローチャートや擬似言語を書かせる。

回	授業計画及び学習の内容
1	アルゴリズムとは、流れ図とは、基本制御構造
2	変数と定数、擬似言語（順次）
3	擬似言語（分岐）、カウンタ、分岐を使った繰り返し
4	擬似言語（繰り返し）
5	関数
6	集計、中間試験対策
7	中間試験
8	二重ループ
9	複合条件、一次元配列
10	二次元配列
11	探索処理（線形探索法、二分探索法）
12	整列処理①（基本選択法）
13	整列処理②（基本交換法、基本挿入法）
14	まとめ、期末試験対策
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%	20%		10%		100%

（補足）
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験有

【教科書・参考文献】

擬似言語で学ぶアルゴリズム（インフォテックサーブ）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	アルゴリズムⅡ		川前 亘	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

フローチャートの表現方法及び基本情報技術者試験で使用する擬似言語の表記法を学ぶ。
また、基本的なアルゴリズムやデータ構造についても学習する。

【講義概要】

各種問題に対して処理要素を解説し、手順を考えさせ実際にフローチャートや擬似言語を書かせる。

回	授業計画及び学習の内容
1	アルゴリズムとは、流れ図とは、基本制御構造
2	変数と定数、擬似言語（順次）
3	擬似言語（分岐）、カウンタ、分岐を使った繰り返し
4	擬似言語（繰り返し）
5	関数
6	集計、中間試験対策
7	中間試験
8	二重ループ
9	複合条件、一次元配列
10	二次元配列
11	探索処理（線形探索法、二分探索法）
12	整列処理①（基本選択法）
13	整列処理②（基本交換法、基本挿入法）
14	まとめ、期末試験対策
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%	20%		10%		100%

（補足）
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験有

【教科書・参考文献】

擬似言語で学ぶアルゴリズム（インフォテックサーブ）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	アルゴリズムⅢ		成田 与志子	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

アルゴリズムとデータ構造の基礎理論習得を目指す。
また、基本情報技術者試験で用いられる擬似言語の読み方を習得する。

【講義概要】

授業プリントを配布しながら講義を進める。
演習問題を実際に解きながら理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	擬似言語の読み方1
2	擬似言語の読み方2
3	基数変換
4	論理演算（ビット演算）
5	加算器
6	再帰処理
7	中間試験
8	リスト構造
9	木構造、ヒープ
10	スタック、キュー、逆ポーランド
11	文字列処理1
12	文字列処理2
13	様々なソート処理
14	マージソート
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%		20%	10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

基本情報技術者 科目B対策(インフォテックサーブ)

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	情報処理科/システム運用コース	2023年		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ネットワーク I	石川 章	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

- ・通信回線の基礎技術からイーサネット技術までを習得する。
- ・基本情報技術者試験におけるネットワークの設問に対応出来る知識を習得する。

【講義概要】

- ・教科書をベースに各項目について説明する。
- ・演習問題による知識の確認を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	ネットワークの歴史と基礎知識
2	ネットワークの種類1：ネットワークの分類、電話網
3	ネットワークの種類2：パケット交換網、携帯電話網
4	ブロードバンド：ADSL、FTTH、CATV
5	データ伝送の実際：文字データ形式、伝送方式、誤り制御
6	前半の補足と復習
7	中間試験
8	通信回線の計算：伝送時間及び回線速度の算出
9	アナログーデジタル変換：変換方法と特性、データ量の算出
10	マルチメディア：静止画、動画、音声の各ファイル形式、圧縮技術
11	イーサネット1：イーサネットによるデータ伝送方法
12	イーサネット2：イーサネット用通信機器
13	通信プロトコルとOSI参照モデル
14	後半の補足と復習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%		30%			100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

ITワールド、演習問題集

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ネットワークⅡ		石川 章	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

- ・インターネット及びネットワークセキュリティ技術の習得。
- ・基本情報技術者試験におけるネットワークの設問に対応出来る知識の習得。

【講義概要】

- ・教科書をベースに各項目について説明する。
- ・演習問題による知識の確認を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	IPアドレス
2	TCP/IP (1)
3	TCP/IP (2)
4	サーバ (1)
5	サーバ (2)
6	通信回線の計算・認証
7	前半の復習と補足
8	中間試験
9	インターネット関連技術
10	暗号
11	セキュリティ技術・ファイアウォール
12	マルウェア・サイバー攻撃
13	無線LAN・IPv6
14	後半の復習と補足
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	70%		30%			100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

ITワールド、演習問題集

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	データベース	高嶋 知由	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

データベースとは、DBMSについて
関係データベースの設計、正規化、DBの操作、SQLの習得

【講義概要】

テキストの他、プロジェクトで図や写真を多用し理解度を深める。
毎回小テストを行い、確実な知識の習得を促す。

回	授業計画及び学習の内容
1	データベースとは 関係データベースの特徴
2	DBMS 排他制御、障害回復処理
3	表の定義 正規化
4	SQL CREATE文
5	SQL SELECT文 * DISTINCT
6	SQL SELECT文 WHERE 条件指定
7	中間試験
8	SQL SELECT文 集合関数 GROUP BY ORDER BY
9	SQL SELECT文 表の結合
10	SQL SELECT文 副問合せ
11	SQL SELECT文 相関問合せ
12	SQL その他のSQL文 JOIN GRANT
13	SQL 総合問題演習
14	DB 基本情報午後問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	20%				100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

ITワールド（インフォテックサーブ）、基本情報過去問

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	実習	文書編集基礎	藤田 恵子	無	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】
 基本的な文字のローマ字入力ができるよう文字入力練習も行いつつ、Word機能や文字入力の基本を学び、ビジネス文書のルールや言葉遣い等含め課題作成を通して理解し、業務で必須の表作成と編集方法、箇条書きリスト機能、画像挿入と編集、図形挿入と編集活用、正しいビジネス文書作成編集能力を身に付けることで就職後の実務実践に役立つことを目指す。

【講義概要】
 毎回配布プリントあり、テーマごとの課題を一斉指導解説の中で作成保存し印刷物で毎回提出した課題はABC添削され返却されるので後日Aになるまで各自で復習や訂正をしながら間違いを正しく直して技能を身に着けます。

回	授業計画及び学習の内容
1	速度アップ用正しい最適文字入力、Word基本機能、文字書式設定(文字種類・サイズ・位置)、印刷と保存方法
2	文字書式設定(太字・斜体・囲み線・下線・ルビ・均等割付け)、ページ設定(ヘッダー編集、余白行数設定)
3	段落書式(左インデント・ぶら下げインデント・左揃えタブ)、文字の拡大縮小、均等割付け、行間変更
4	社外用・社内用ビジネス文書の作成1~2(ビジネス用敬語活用) ページ罫線、ヘッダーフッター機能
5	社外用・社内用ビジネス文書の作成3~4(ビジネス用敬語活用) ページ設定詳細設定、行間の変更方法
6	表作成の基本・編集(行列削除と挿入、セル結合、罫線の削除と鉛筆引き、表のプロパティ、行列の幅)
7	表作成・編集の練習(複数行幅を揃える、罫線の種類・太さ変更、表の中に表を作成、図形内に表作成)
8	ビジネス文書と画像挿入、画像の配置、画像サイズ変更、画像のコピー、画像の枠線、トリミング)
9	箇条書きリストの自動機能活用(行頭文字種類や位置の変更、番号変更、ぶら下げインデント位置)
10	箇条書きリストの練習と、文字スタイル書式の登録と活用、段落の網掛けと文字の網掛けの詳細設定
11	文書デザイン広告作成・地図作成(図形、ワードアート作成と編集) 図形のグループ化
12	アウトライン機能の活用、段組、ページ罫線、段区切り、ヘッダーフッターの自動日付表示、ページ番号
13	WORD内グラフ作成、EXCELグラフのインポート、PDF保存と印刷、差し込み印刷機能、WEB変換ほか
14	ここまでの総合まとめ練習課題1
15	ここまでの総合まとめ練習課題2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(出欠席・遅刻数)	合計
割合	70%			20%	10%	100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】
 実況出版60HWordエキスパート/無限大出版Word演習問題/MOS検定試験問題集/日本情報処理検定問題集3~1級

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	実習	表計算基礎	佐藤 薫	無	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

表計算の仕組みと特徴を理解し、データ入力から表作成、書式設定、四則演算や基本の関数、グラフ機能を実習して表計算の基礎を習得する。

【講義概要】

前半の機能の説明をよく聞き、課題（2～3問）を仕上げよう。不明点は積極的に質問して理解を深めよう。必須課題は必ず提出すること。プリント等の応用問題、小テストあり。

回	授業計画及び学習の内容
1	Excelの画面構成、基本用語、データ入力、保存、課題の提出方法
2	四則演算、合計（関数）、簡単なグラフ、印刷設定、連続データの入力
3	表の編集機能、表示形式の変更、文字位置、平均（関数）
4	データ入力の便利な方法、罫線、セルのスタイル
5	セル参照の使い分け、文字属性の変更
6	最大・最小（関数）、データのカウンント（関数）
7	セルとワークシートの保護、数値の端数処理（関数）
8	条件判定（関数）、関数のネスト
9	総合問題①（作表、書式設定、関数）
10	条件付き書式、スパークライン
11	グラフの作成と編集
12	データベース機能、並べ替え、テーブル
13	総合問題②（条件付き書式、グラフ、データベース）
14	まとめ
15	まとめ

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

（補足）
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

30時間でマスターExcel2019（実況出版）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	実習	Office実務I	佐藤 薫	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

①応用関数、データベース機能、集計、作業の自動化を学習し、Excelデータを活用するスキルを習得する。②ビジネス文書作成に役立つOfficeのデータ活用術を習得する。

【講義概要】

前半は表計算Iの続きとして各テーマの問題2~3問を実習、後半はビジネスシーンを想定した課題から課題を1~2問作成して実践力を付ける。課題は必ず提出すること(80%以上)。

回	授業計画及び学習の内容
1	表作成と数式と基本の関数/複合グラフの活用
2	統計関数、端数処理の関数/プロジェクトの体制図の作成(SmartArt)
3	文字列操作、日付時刻の関数、シリアル値の扱い / 通知レポートの作成(社内文書)
4	検索行列関数/ 会議の開催通知、会議の配布資料の作成(手書きメモから文書を作る)
5	条件判定の関数、関数のネスト / 行動指針の通知レポート
6	入力規則 / セミナー一覧表と案内レポートの作成(社外文書)
7	データベース関数 / 受講表の作成(差し込み印刷)
8	集計、統合、複数シートの活用/ビジネス文書の練習問題
9	データベース / アクセス数の集計と分析
10	ピボットテーブルとピボットグラフ/総合練習問題
11	実践データ処理① / 社内研修結果の管理
12	実践データ処理② / イベント売上実績の集計
13	マクロの基礎(作成、編集、実行、ボタンへの割り当て)
14	総合演習
15	まとめ

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	60%	10%		30%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

30時間アカデミック 情報活用 Excel2019/ Word&Excel2019スキルアップ問題集 ビジネス実践編

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	経営		古郡 聡	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

IT社会を支えている情報システムを中心とした戦略について、経営戦略と企業について学ぶ。また、基本情報技術者試験のマネジメント分野、ストラテジ分野の対策も兼ね、基本情報技術者試験の合格を目指す。

【講義概要】

毎回要点のまとめを実施し、確実な知識の習得を促す

回	授業計画及び学習の内容
1	企業活動の目的
2	企業会計
3	オペレーションズリサーチ(1)
4	オペレーションズリサーチ(2)
5	経営工学・品質管理
6	法務と標準化
7	中間試験
8	経営戦略マネジメント(1)
9	経営戦略マネジメント(2)
10	技術戦略マネジメント・ビジネスインダストリ
11	e-ビジネス
12	情報システム戦略
13	情報システム企画
14	開発技術
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	70%	10%		20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

教育機関にて学内のシステム開発業務に従事

【教科書・参考文献】

IT戦略とマネジメント (インフォテック・サーブ)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	J検対策	坂東 佑一	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

受講者全員が、情報検定(J検)情報活用試験3級に合格することを目指す。

【講義概要】

J検の中で最も易しい3級の過去問演習を徹底的に行い、情報系分野の基礎知識を習得する。3級以上に合格で、授業・試験ともに免除とする。なお、昨年度は受講者全員(約80名)が3級合格を果たした。

回	授業計画及び学習の内容
1	イントロダクション
2	J検3級の過去問題演習
3	J検3級の過去問題演習
4	J検3級の過去問題演習
5	J検3級の過去問題演習
6	J検3級の過去問題演習
7	中間試験
8	J検3級の過去問題演習
9	J検3級の過去問題演習
10	J検3級の過去問題演習
11	J検3級の過去問題演習
12	J検3級の過去問題演習
13	J検3級の過去問題演習
14	J検3級の過去問題演習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	100%					100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

慶應義塾大学理工学部情報工学科卒(学士)、東京大学大学院学際情報学府修了(修士)
 NTT研究所(2013-2015)にてクラウド基盤に関する研究、慶應義塾ITC(2015-2020)にて勤務

【教科書・参考文献】

Web上で一般公開されているJ検の過去問題

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ITパスポート対策I		成田 与志子	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ITパスポート試験合格を目標とする

【講義概要】

ITパスポート試験の資格対策を行う。用語と過去問を理解し、資格取得を目指す。
合格者は授業・定期試験を免除する。

回	授業計画及び学習の内容
1	疑似言語 記述の規則
2	疑似言語 プログラムの読み方
3	マネジメント 開発技術
4	マネジメント プロジェクトマネジメント
5	マネジメント サービスマネジメント
6	ITパスポート 令和3年過去問題の解説
7	中間試験
8	テクノロジー 基礎理論
9	テクノロジー 技術要素
10	テクノロジー コンピュータシステム
11	ストラテジ 経営戦略
12	ストラテジ 企業と法務
13	ストラテジ システム戦略
14	ITパスポート 令和4年過去問題の解説
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%		10%	10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

令和4年度秋期 ITパスポート過去問題集 間久保 恭子著

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		1年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 選択	講義	セキュリティマネジメント対策Ⅰ		外部企業より派遣	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

国家試験 情報セキュリティマネジメント の試験対策講座。
原則として本試験の受験をすることを受講条件とする。

【講義概要】

半期に一度集中講義の形で開講。
社会人向けに資格対策講座を実施している教育ベンダと提携し、講師を派遣してもらい講義を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	① 「情報セキュリティマネジメント試験の概要」
3	・ 出題傾向と学習方法
4	② 「情報セキュリティ全般」
5	・ 情報セキュリティの概念、マルウェア、パスワードの不正入手／不正利用
6	③ 「情報セキュリティ全般」
7	・ Webサイト利用者への攻撃、サービスの妨害／悪用、人的脅威／物理的脅威／その他の脅威
8	④ 「情報セキュリティ全般」
9	・ 暗号化技術／認証技術、デジタル署名
10	⑤ 「情報セキュリティ対策」
11	・ マルウェア対策、不正アクセス対策
12	⑥ 「情報セキュリティ対策」
13	・ ネットワークセキュリティ、情報漏えい対策、その他のセキュリティ対策
14	⑦ 「情報セキュリティ管理」
15	・ 情報セキュリティマネジメント、ISMS、リスクマネジメント
	⑧ 「情報セキュリティ管理」
	・ 情報セキュリティインシデント管理
	⑨ 「情報セキュリティ関連法規」
	・ 情報セキュリティ関連法規

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合				100%		100%

(補足) ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

情報セキュリティマネジメント対策(インフォテックサーブ)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		1年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 選択	講義	セキュリティマネジメント対策Ⅱ		外部企業より派遣	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

国家試験 情報セキュリティマネジメント の試験対策講座。
原則として本試験の受験をすることを受講条件とする。

【講義概要】

半期に一度集中講義の形で開講。
社会人向けに資格対策講座を実施している教育ベンダと提携し、講師を派遣してもらい講義を行う。
Ⅰと同じ内容だが、Ⅰ受講者で資格未取得者は再度受講ができる。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	①「情報セキュリティマネジメント試験の概要」
3	・出題傾向と学習方法
4	②「情報セキュリティ全般」
5	・情報セキュリティの概念、マルウェア、パスワードの不正入手/不正利用
6	③「情報セキュリティ全般」
7	・Webサイト利用者への攻撃、サービスの妨害/悪用、人的脅威/物理的脅威/その他の脅威
8	④「情報セキュリティ全般」
9	・暗号化技術/認証技術、デジタル署名
10	⑤「情報セキュリティ対策」
11	・マルウェア対策、不正アクセス対策
12	⑥「情報セキュリティ対策」
13	・ネットワークセキュリティ、情報漏えい対策、その他のセキュリティ対策
14	⑦「情報セキュリティ管理」
15	・情報セキュリティマネジメント、ISMS、リスクマネジメント
	⑧「情報セキュリティ管理」
	・情報セキュリティインシデント管理
	⑨「情報セキュリティ関連法規」
	・情報セキュリティ関連法規

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合				100%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

情報セキュリティマネジメント対策(インフォテックサーブ)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 選択	実習	MOS対策 I	坂本 知美	有	1単位 20時間

【授業の到達目標及びテーマ】

マイクロソフトMOS資格の対策講座。
原則として資格試験の受験を目指すことを受講条件とする。

【講義概要】

模擬試験ソフトを使用し、繰り返し練習を行う

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	模擬問題ソフトを繰り返し練習し、ランダム出題で80%以上の点数取得を目指す。
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合				100%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

- 独立系IT企業の組込み事業部にて、SE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。
・カーオーディオのマイコン制御処理や、他機器との通信処理の開発業務を行った。
・スマートフォンのアプリ開発や、他機器との通信処理の開発業務を行った。

【教科書・参考文献】

FOM出版。MOS模擬問題集

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 選択	実習	MOS対策Ⅱ	坂本 知美	有	1単位 20時間

【授業の到達目標及びテーマ】

マイクロソフトMOS資格の対策講座。
原則として資格試験の受験を目指すことを受講条件とする。

【講義概要】

模擬試験ソフトを使用し、繰り返し練習を行う

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	模擬問題ソフトを繰り返し練習し、ランダム出題で80%以上の点数取得を目指す。
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合				100%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

- 独立系IT企業の組込み事業部にて、SE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。
・カーオーディオのマイコン制御処理や、他機器との通信処理の開発業務を行った。
・スマートフォンのアプリ開発や、他機器との通信処理の開発業務を行った。

【教科書・参考文献】

FOM出版。MOS模擬問題集

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	F E 午前対策		高嶋 知由	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験の午前問題分野について、演習・解説を繰り返し行う。

【講義概要】

計算問題や仕組みは理解すること、用語問題はキーワードを覚えることを中心とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	基礎理論
2	ハードウェア
3	情報処理システム
4	ソフトウェア
5	ネットワーク
6	セキュリティ
7	中間試験
8	テクノロジー系用語問題
9	データベース
10	データ構造・アルゴリズム
11	開発技術
12	マネジメント
13	ストラテジ
14	総合問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	20%				100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

基本情報技術者午前問題集 (インフォテックサーブ)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎学力I	佐々木 一仁	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

- ①就職試験対策として必要な基礎学力を身に付ける
- ②現実の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる

【講義概要】

- ①日本語の基礎知識
- ②数学の基礎計算
- ③SPI試験対策など

回	授業計画及び学習の内容
1	授業方針・就職状況・その他 計算問題（100マス計算など）
2	計算問題（分数・小数・混合） SPI対策問題
3	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） SPI対策問題
4	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） 日本語の基礎知識（漢字の読み書き）
5	日本語の基礎知識（漢字の読み書き・四字熟語） SPI対策問題
6	日本語の基礎知識（四字熟語） SPI対策問題 これまでの復習
7	中間試験
8	図形問題（角度）
9	図形問題（面積） 計算問題（暗算）
10	一次方程式・不等式 SPI対策問題
11	連立方程式・不等式 SPI対策問題
12	方程式を利用した文章問題（つるかめ算） 日本語の基礎知識（漢字の読み書き）
13	方程式を利用した文章問題（整数・年齢算） SPI対策問題
14	方程式を利用した文章問題 日本語の基礎知識 SPI対策問題 これまでの復習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎学力Ⅱ	佐々木 一仁	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

①就職試験（SPIなど）対策として必要な基礎学力を身に付ける ②現在の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる

【講義概要】

①日本語の基礎知識 ②数学の基礎計算 ③SPI試験対策など

回	授業計画及び学習の内容
1	日本語の基礎知識No.1、数学の基礎計算P.128～133、文章問題(仕事算)
2	日本語の基礎知識No.2、数学の基礎計算P.134～139、文章問題(割合算)
3	日本語の基礎知識No.3、数学の基礎計算P.140～145、文章問題(定価算)
4	日本語の基礎知識No.4、数学の基礎計算P.146～151、文章問題(速度算)
5	日本語の基礎知識No.5、数学の基礎計算P.152～157、文章問題(流水算)
6	日本語の基礎知識番外編、数学の基礎計算P.158～165、文章問題(通過算)
7	中間考査
8	日本語の基礎知識No.6、数学の基礎計算P.166～171、式の展開
9	日本語の基礎知識No.7、数学の基礎計算P.172～177、因数分解(1)
10	日本語の基礎知識No.8、数学の基礎計算P.178～183、因数分解(2)
11	日本語の基礎知識No.9、数学の基礎計算P.184～189、平方根
12	日本語の基礎知識No.10、数学の基礎計算P.190～195、二次方程式
13	日本語の基礎知識No.11、数学の基礎計算P.196～201、n進法
14	日本語の基礎知識No.12、数学の基礎計算P.202～209、集合
15	期末考査

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎英語 I	茂木康有 Tope Salami	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

- 英語の苦手意識をなくし、とにかく英語が好きになる。
- 英語が母語の同僚や顧客にも英語で対応できるようPythonプログラミングを英語で学ぶ。

【講義概要】

90分授業を前半と後半に分け、前半は日本人講師による英語の訳し方、伝え方、パイソン用語などを日本語で解説。後半は、英語母語の講師により実際にパソコンを使ったPythonプログラミング実習を英語で行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	自己紹介、英語の訳し方、伝え方、このクラスの目標
2	Words and sentences
3	Terminology
4	Writing a program
5	What could possibly go wrong?
6	Variables
7	Variable names and key words
8	Statements
9	Operators and operands
10	Expressions
11	Order of operations
12	Modulus operator
13	String operations
14	Asking the user for input
15	Comments

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	100%					100%

- (補足)
- 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
 - 難問により平均点が低ければ出席率を加点考慮対象とする

【教員紹介】

茂木康有 (Steve Mogi) : アメリカ、ドイツ、オーストラリア企業に約20年勤務ののち2010年ICT教育研修研究所を設立。現在は各種英語科目を専門学校等へ提供。また、コミュニケーション関連研修を各種企業へ提供。
Tope Salami : IT関連会社運営、カナダ、サウジアラビア、日本で合計9年の英語関連、Pythonプログラミング関連の実務経験。生徒が授業に積極的に参加する雰囲気作りに情熱を注いでいる。

【教科書・参考文献】

Trinket - Python Book

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	就職対策Ⅰ		石井 眞木子	有	2単位 30時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
グループディスカッション、グループワークを通して自分自身を理解し他者とのコミュニケーションを学ぶ。就職活動の流れ、採用試験までの対応を体系立てて学習する。						
【講義概要】						
企業説明会から採用試験までの対応をキャリアコンサルタントとして解説し、ワークシートを使って自己分析を深める。また、発表会、スピーチなどを通して人前で話す経験を積む。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	講義の説明、オリエンテーション、グループディスカッション（価値観のワーク）					
2	就職活動の概要を把握、就職活動の全体像、主なスケジュールなどの説明					
3	働くことの意味、社会人との違いの理解					
4	グループディスカッションの進め方を学ぶ その1 実習「ボランティア」					
5	グループディスカッションの進め方を学ぶ その2 実習「GUAKOボム」					
6	お金の話（給与+残業代）					
7	中間試験					
8	ソフトウェア業界の理解、業界の構成、SEの業務内容					
9	ワークシートを使って自己分析をする その1 パーソナリティ、長所と短所					
10	ワークシートを使って自己分析をする その2 心の4つの窓「ジョハリの窓」					
11	ワークシートを使って自己分析をする その3 学生時代にがんばったこと					
12	ワークシートを使って自己分析をする その4 挫折経験、キャリアプラン、将来の夢					
13	企業の採用に対する考え方などについての知識の理解とグループワークによる実践					
14	交流分析 その1 エゴグラムによる自己の行動の特徴の理解と今後の行動変容の認識					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	75%		15%	10%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
担任業務の学生の生活指導、就職支援のために研鑽を積み産業カウンセラー、国家資格のキャリアコンサルタントの資格を取得し、学生のキャリア支援に勤しむ。 電気メーカーのソフトウェア生産技術研究所においてシステム開発の上工程の自動化ツールの研究開発を行う。グループリーダー代理として、子会社との折衝を行う。						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	就職対策Ⅱ	石井 眞木子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

就職活動の流れからソフトウェア業界の説明・会社訪問・採用試験などについてキャリアコンサルタントの視点から解説し、来年度の就活がスムーズに行えるように履歴書、自己PR、採用面接の準備を行う。

【講義概要】

就職対策Ⅰで行った自己分析をもとに、より自己理解を深め履歴書・ESを作成する。さらに、面説練習、様々なロールプレイングによってビジネスマナーを体験しスムーズに就職活動をするための基礎力を養う。

回 授業計画及び学習の内容

1	就職対策Ⅱの講義についての説明、就活のスケジュールについての復習、履歴書の作成についての説明
2	履歴書を書き始める 「PREP法」を理解する
3	自己PRを記述し、グループワークによってお互いに自己PRを深める。
4	学生時代に頑張ったことを記述し、グループワークによってお互いに自己PRを深める。
5	採用試験（筆記・グループディスカッション・面接など）の説明。敬語、ビジネスマナーを理
6	採用試験の筆記試験について模擬試験問題を体験し、自分の得意不得意を理解する
7	中間試験
8	採用試験のWeb試験（CAB、GAB）について模擬試験問題を体験し、自分の得意不得意を理解する
9	採用試験の面接試験についての説明と面接試験のロールプレイングの準備を行う
10	面接試験のロールプレイング その1
11	面接試験のロールプレイング その2
12	企業求人理解 その1. 企業の求人票を確認する
13	企業求人理解 その2. 会社の特性の見方と自分に合った会社選びの基準を理解する
14	内定、試用期間と懲戒についての説明と内定後のスケジュール等を理解する
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	75%		15%	10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

担任業務の学生の生活指導、就職支援のために研鑽を積み産業カウンセラー、国家資格のキャリアコンサルタントの資格を取得し、学生のキャリア支援に勤しむ。
電気メーカーのソフトウェア生産技術研究所においてシステム開発の上工程の自動化ツールの研究開発を行う。グループリーダー代理として、子会社との折衝を行う。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	ビジネスマナー	今村 朋子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

就職活動に役立ち、且つ社会人としても通用するビジネスマナーを身につける。
併せて良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、日常生活での基本的なマナーの見直しも行う。

【講義概要】

授業は講義と参加型の実習を取り入れ、主体的に発信する力を伸ばし、共感的に受信する力を広げることを目標とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	なぜ「ビジネスマナー」が必要なのか 今後の就職活動を踏まえ、社会人となる自己認識を高める 返事と挨拶、礼節としての「お辞儀」 学生と社会人の違い 守秘義務 コンプライアンス
2	「身だしなみ」について 第一印象の形成、重要性 初対面での注意点
3	ビジネスマナーの基本 「人間関係」の大切さ 的確な報告、連絡、相談の方法
4	コミュニケーションの重要性 「聞くこと」「話すこと」の正しい姿勢、「よい話し方」の基本
5	敬語① 正確な敬語を使いこなす T、P、Oに合わせた言葉遣い
6	敬語② 接遇用語・接遇のマナー 「ホスピタリティ」と「サービス」
7	中間試験
8	電話の応対① 電話応対の注意点 「受け方」の基本 苦情電話、間違い電話などへの対応
9	電話の応対② 電話応対の注意点 「掛け方」の基本 伝言メモの作成
10	訪問のマナー 名刺の取り扱いかた 名刺交換の手順 紹介の仕方
11	応接のマナー お茶の出し方 席次のルール 応接室、車、乗り物の席次
12	交際のマナー① 慶事・弔事における決まりごと パーティでのマナー
13	交際のマナー② お中元、お歳暮 賀寿、お礼状など 交際のルール
14	総復習 「仕事の穴」に落ちないために 「人としての魅力」で、仕事の結果につなげよう
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。著作：「わかる! 秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社

【教科書・参考文献】

「社会でいきる 実践ビジネスマナー」

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	実習	プレゼンテーション		山際 能理子	有	1.5単位 30時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
目的：伝え方の技術を学び、社会人にむけての基礎力を養う 目標：効果的なプレゼンテーションスキルの習得						
【講義概要】						
前半は、プレゼンテーションの基本理論を学びながら、説明や説得のテクニックを実習で体得します。 後半は、課題に向けて自ら組み立て実践発表し、説明力向上を図ります。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	【オリエンテーション】	説明力概論	説明と説得			
2	【心理メカニズム】	相手（聞き手）の心理を理解する				
3	【非言語情報①】	視覚情報	聴覚情報			
4	【非言語情報②】	空間管理	ツールの活用			
5	【説明力テクニック】	インタビュー	プランニング	ネゴシエーション		
6	【説得力テクニック】	応酬話法	論理構築			
7	【プレゼンテーション基礎】	全体構成	PREP法			
8	【プレゼンテーション基礎】	全体構成	SDS法			
9	【プレゼンテーション応用】	デザイン	課題作成			
10	【プレゼンテーション応用】	デザイン	課題作成			
11	【プレゼンテーション実践】	発表・評価				
12	【プレゼンテーション実践】	発表・評価				
13	【プレゼンテーション実践】	発表・評価				
14	総合評価					
15	まとめ					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%			50%		100%
(補足)	・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】						
専門学校や大学で、ビジネスマナー、社会人基礎力、就職対策、キャリアデザイン、プレゼンテーションを担当。企業や官庁において、新入社員から管理職までの研修を担当。著書にサービス接遇や説明力がある。						
【教科書・参考文献】						
説明力強化						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	情報処理科/システム運用コース	2023年		1年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	実習	体育実習 I	情報処理科担当教員	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。
ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4 時間程度歩き、心身のバランスを図ります。
学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。
心身の健全な育成を目指しています。

【講義概要】

この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備 2 日間、学園祭 2 日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	春のハイキング
3	
4	
5	学園祭準備（1 日目、2 日目）
6	
7	
8	学園祭（1 日目）
9	
10	
11	学園祭（2 日目）、後片付け
12	
13	
14	秋のハイキング
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席と取り組む姿勢）	合計
割合					100%	100%

（補足）
・成績は 100 点を最高とし、60 点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が 1/3 を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	情報処理科/システム運用コース	2023年		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	データベース演習 I	榎本 博文	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

データベースの授業で学んだSQLを実際に演習で確認する。

【講義概要】

SQL文を作成実行できるプログラミング言語（PHP）を利用して演習する。
データベースのみならずPHPの習得も併せて行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	環境構築。データベースの作成。テーブルの作成
2	SQLの基礎的な構文
3	オープンソースのデータベース「MySQL」と「SQLite」の違いについて
4	テーブルの挿入 & 更新 & 削除。INSERT, DELETE, UPDATE, DROP TABLE
5	集計関数 COUNT(), SUM(), MAX(), MIN(), AVG()。別名 AS。算術演算子 + - * /
6	並べ替え ORDER BY, DESC, ASC。グルーピング GROUP BY, HAVING
7	演習実践・Webアンケートフォームの制作実習①
8	演習実践・Webアンケートフォームの制作実習②
9	演習実践・Webアンケートフォームの制作実習③
10	演習実践・入退出管理システムの作成①
11	演習実践・入退出管理システムの作成②
12	演習実践・入退出管理システムの作成③
13	演習実践・入退出管理システムの作成④
14	演習実践・入退出管理システムの作成⑤
15	演習実践・入退出管理システムの作成⑥

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。

【教科書・参考文献】

詳細! PHP 8 + MySQL入門ノート XAMPP + MAMP 対応

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	データベース演習Ⅱ		成田 与志子	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

小規模のデータベースを作りながら段取りや手順、操作を覚える。

【講義概要】

javaでDBを扱う。そのあと、MicroSoftのAccessで小さなシステムを作成する。

回	授業計画及び学習の内容	
1	JavaDBを使うための準備。データベースの作成。テーブルの作成	
2	JavaDBにアクセスするプログラムの作成	
3	フレームのComboボックス、テキストボックスにDBから読み込んだ内容を表示する	
4	Accessの使い方。テーブルの作成、クエリの作成、フォームの作成、レポートの作成	
5	蔵書管理のデータベースの作成	1
6	蔵書管理のデータベースの作成	2
7	蔵書管理のデータベースの作成	3 AccessVBA
8	蔵書管理のデータベースの作成	4 AccessVBA
9	住所録のデータベースの作成	1 AccessVBA
10	住所録のデータベースの作成	2 AccessVBA
11	在庫管理のデータベースの作成	1 AccessVBA
12	在庫管理のデータベースの作成	2 AccessVBA
13	在庫管理のデータベースの作成	3 AccessVBA
14	在庫管理のデータベースの作成	4 AccessVBA
15	まとめ	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	100%					100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	CCNA基礎 I		菊池 靖	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

コンピュータネットワークが繋がる理由、仕組みと基本的なネットワーク機器の設定を習得する。

【講義概要】

ネットワークが繋がる仕組みを、OSI参照モデルをベースにして各階層ごとに働くプロトコルとその連携を知り、デバイスの設定に反映できるようにする。

回	授業計画及び学習の内容
1	CCNA試験とは・コンピュータネットワークとは・OSI参照モデル
2	PacketTracerの使い方・Ciscoデバイスの基本設定
3	IPアドレス・IPv6・ICMP
4	ルータとルーティング・ルータIFのアドレス設定・PCのアドレス設定
5	スタティックルーティング・デフォルトルートの設定
6	ルーティングプロトコル・ここまでの復習
7	中間試験
8	RIPの設定・デフォルトルートの伝播
9	2進数・サブネットワーク
10	VLSM・サブネットの設計・RIPv2
11	IPv6ルーティング
12	仮想端末接続・Ciscoデバイスのセキュリティー
13	データリンク層とイーサネット・シリアル回線
14	ここまでの復習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	60%			40%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	情報処理科/システム運用コース	2023年		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	CCNA基礎Ⅱ	菊池 靖	無	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

コンピュータネットワークが繋がる理由、仕組みと基本的なネットワーク機器の設定を習得する。

【講義概要】

ネットワークが繋がる仕組みを、OSI参照モデルをベースにして各階層ごとに働くプロトコルとその連携を知り、デバイスの設定に反映できるようにする。

回	授業計画及び学習の内容
1	Iの復習
2	スイッチとハブの動作の違い、MACアドレスとは、ARP
3	スイッチの基本コマンド-ホスト名やパスワード、IP・GW設定など
4	ポートセキュリティ
5	STP
6	ここまでの復習
7	中間試験
8	VLAN1
9	VLAN2, VLAN間ルーティング
10	ワイルドカードマスク、ACL1
11	ACL2
12	NAT
13	DHCP
14	ここまでの復習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	50%			50%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	情報処理科/システム運用コース	2023年		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	JavaScript	榎本 博文	有	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

JavaScriptとは何なのかを知り基礎的な知識を学びます。

【講義概要】

JavaScriptによって作ることができるものを知り、静的なホームページから動的なホームページへ改良をすることができるようになる。

回	授業計画及び学習の内容
1	プログラムにおける「条件」「逐次実行」を理解する
2	開発環境の準備 (Node.js)
3	基礎知識 Webページに関わる様々なファイル、ドメインとオリジン
4	JavaScriptのオブジェクト指向について
5	Document Object Modelについて
6	並べ替え ORDER BY, DESC, ASC。グルーピング GROUP BY, HAVING
7	非同期処理と通信処理①
8	非同期処理と通信処理②
9	canvas要素とは。HTMLとJavaScriptを使って図形を描いてみよう①
10	canvas要素とは。HTMLとJavaScriptを使って図形を描いてみよう②
11	演習実践・入退出管理システムの作成②
12	演習実践・Webページをつくろう①
13	演習実践・Webページをつくろう②
14	演習実践・Webページをつくろう③
15	応用編 フレームワーク

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。

【教科書・参考文献】

JavaScript〈完全〉入門

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		2年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 選択	講義	C言語文法		砂賀 勝己	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

C言語の文法について学習する。Javaを履修済みのため、Javaとの違いなどに触れながら進める。

【講義概要】

回	授業計画及び学習の内容
1	Javaとの違い、変数など
2	scanf関数、代入式、四則剰余演算に関する演習
3	基本的なfor命令、forの入れ子、インクリメント/デクリメント
4	基本的なif命令、ifの入れ子、elseif
5	初期値、条件、増分などのないfor・break
6	中間試験
7	一次元配列1(int)
8	一次元配列2(char)、(char配列による)文字列の取り扱い
9	ソートの手法、乱数
10	二次元配列
11	関数1(概要、戻り値のない関数)
12	関数2(戻り値のある関数)
13	ポインタ概要1
14	ポインタ概要2
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 選択	実習	C言語演習		砂賀 勝己	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

C言語の文法について学習する。Javaを履修済みのため、Javaとの違いなどに触れながら進める。

【講義概要】

文法で学習したことを演習することで、さらに理解度を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	Javaとの違い、変数など
2	scanf関数、代入式、四則剰余演算に関する演習
3	基本的なfor命令、forの入れ子、インクリメント/デクリメント
4	基本的なif命令、ifの入れ子、elseif
5	初期値、条件、増分などのないfor・break
6	中間試験
7	一次元配列1(int)
8	一次元配列2(char)、(char配列による)文字列の取り扱い
9	ソートの手法、乱数
10	二次元配列
11	関数1(概要、戻り値のない関数)
12	関数2(戻り値のある関数)
13	ポインタ概要1
14	ポインタ概要2
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	サーバ構築		稲垣 高宏	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ウィンドウズサーバの基本的な機能を実習を中心に習得する。

【講義概要】

基本的な機能を理解しながら、機能別にサーバ構築が使えるようにする。
中間と期末試験は行わない。実習中心とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	Windowsサーバとクライアントのインストールと接続確認。
2	DNSのインストールと設定とテストを行う。
3	Active Directoryの説明とインストールし、クライアントからのログイン。
4	グループポリシーとクライアント管理。
5	ファイルとフォルダのアクセス権と共有。
6	DHCPの設定とテスト。
7	Webの仕組。IISのインストールと設定。
8	ftpのインストールと設定。
9	xampのインストールと、Apacheの設定してクライアントから接続。
10	CGIの理解。PHPによる接続。
11	mysqlの設定と、PHPから接続。
12	セキュリティの基本的な設定の確認。
13	まとめ。
14	1/0
15	1/0

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	60%			40%		100%

- (補足)
- 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

メーカー系IT企業でSE、プログラマとして開発業務に従事する。退職後に、シグマプロジェクトの研究員を務める。20代で起業して外資系やメーカー系の会社などを中心に開発業務に従事する。開発のほかに、マニュアルなどの翻訳や出版業務も行う。

【教科書・参考文献】

なし。自前の資料。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	アプリケーション演習		黒澤 純一	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

様々なコンテンツ制作に利用することができるデザイン系Adobeアプリの基本的な技術習得、及び広告/PRに関する表現手法を理解し、活用できるようになることを目指す。

【講義概要】

授業前半は、表現手法とAdobeアプリの機能について解説し、授業後半は、学習した内容を基に課題制作に取り組むことで理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	本講義の概要説明、iMac演習、Googleアプリ演習、Photoshop演習
2	デザイン基礎① 見やすい資料とは？情報をデザインしよう (Illustrator演習)
3	デザイン基礎② 色彩を活用したデザインの仕方 (Photoshop演習)
4	デザイン基礎③ タイポグラフィ、フォント選びとレイアウト (Illustrator演習)
5	動画基礎① 動画の仕組みと効果、基本的な動画編集 (Premiere Pro演習)
6	動画基礎② アニメーション演習 (Premiere Pro/After Effects演習)
7	動画基礎③ カメラワーク演習 (After Effects演習)
8	動画基礎④ エフェクト演習 (Photoshop/After Effects演習)
9	表現手法 モーション/インフォグラフィックス (After Effects演習)
10	【実習課題】集大成動画の制作 概要解説、企画検討
11	【実習課題】続き 企画検討② ※各回 前半30分ほど技術面の講座を行う
12	【実習課題】続き 制作①
13	【実習課題】続き 制作②
14	【実習課題】続き 修正・ブラッシュアップ
15	【実習課題】続き 鑑賞会・振り返り

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	70%			30%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	セキュリティⅡ		久良知 眞紀子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

情報セキュリティマネジメント試験の午前・午後問題分野について、要点確認と問題演習を行う。

【講義概要】

教科書の単元に沿って解説する。毎回、授業の最後に、その日の授業の範囲から出題した小テストを行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	情報セキュリティ全般：単元01 情報セキュリティ
2	情報セキュリティ全般：単元02 マルウェア、単元03 パスワードの不正入手/不正利用、
3	情報セキュリティ全般：単元04 Webサイト利用者への攻撃、単元05 サービスの妨害/悪用、
4	情報セキュリティ全般：単元06 人的脅威、単元07 物理的脅威/その他の脅威、
5	情報セキュリティ全般：単元08 暗号化技術、単元09 認証技術
6	情報セキュリティ全般：単元10 デジタル署名
7	中間試験
8	情報セキュリティ対策：単元11 マルウェア対策、単元12 不正アクセス対策
9	情報セキュリティ対策：単元13ネットワークセキュリティ、単元14情報漏えい対策
10	情報セキュリティ対策：単元15その他のセキュリティ対策
11	情報セキュリティ管理：単元16 情報セキュリティマネジメント、単元17 ISMS
12	情報セキュリティ管理：単元18 リスクマネジメント、単元19 情報セキュリティインシデント管理
13	情報セキュリティ関連法規：単元20 情報セキュリティ関連法規
14	総合問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

① 銀行でシステム開発 (2年) ②ソフトウェア開発会社でシステム開発 (2年) ③起業し、システム開発、教育、翻訳、テクニカルライティング (20年)

【教科書・参考文献】

情報セキュマネ試験 要点&問題集 (インフォテックサーブ)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	CompTIA A+対策		藤野 麻朗	有	4単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

PC/AT互換機のハードウェア理解とWindowsを中心としてOSの理解を行う

【講義概要】

1001にてコンピューターハードウェアの詳細及びトラブルシューティングを学ぶ
1002にてOSやモバイル、ヘルプデスクの人的対応について学ぶ

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーションとレッスン1 (1001) PCコンポーネントのインストールと構成 レッスン2 (1001) ディスプレイ及びマルチメディアデバイス
2	レッスン3 (1001) ストレージデバイス
3	レッスン4 (1001) 内部システムコンポーネント
4	レッスン5 (1001) ネットワークインフラストラクチャ
5	レッスン6 (1001) ネットワーク構成とトラブルシューティング レッスン7 (1001) 仮想化とクラウド
6	レッスン8 (1001) ノートPC レッスン9 (1001) モバイルデバイスのサポートとトラブルシューティング レッスン10 (1001) 印刷デバイス 復習
7	中間試験
8	レッスン1 (1002) OSのサポート レッスン2 (1002) OSのインストール、構成、メンテナンス
9	レッスン3 (1002) Windowsのメンテナンスとトラブルシューティング レッスン4 (1002) ネットワーク構成とトラブルシューティング
10	レッスン5 (1002) ユーザー、PC、共有資源管理
11	レッスン6 (1002) セキュリティの概念 レッスン7 (1002) PCとデータ保護
12	レッスン8 (1002) PCのセキュリティ問題のトラブルシューティング レッスン9 (1002) モバイルデバイスのサポートとトラブルシューティング
13	レッスン10 (1002) 運用手順の実施
14	レッスン10 (1002) 運用手順の実施 総復習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	50%			50%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

5年間SEとして勤務、その後は企業向けIT系講師として勤務。ネットワーク、Windowsサーバー構築、Linuxサーバー構築、仮想化、CompTIA関連などの社員向け研修等を担当。

【教科書・参考文献】

CompTIAのThe Official CompTIA Contents (OCC)A+1001、A+1002

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	データサイエンス/AI構築		吉田 雅裕	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

情報社会が抱える諸問題を多角的に分析・解明した上で、その問題の解決策を論理的に構築するために有用なデータマイニングの基礎技術の習得を目指す。実社会のビッグデータを対象に、データクレンジングの方法やAIの適用方法を学習し、データマイニングによって得られる結果を正しく理解するための論理的思考力を身に着ける。例として、身近な医療や保健のデータ、電子メールのデータ、スーパーマーケットの商品販売履歴などのデータを学習に利用する。日ごろ直感的に感じていることと、データマイニングでわかることを比較し、データマイニングに関するより深い理解を得る。

Pythonを使って、実際にデータマイニングを行うための具体的な方法論を習得する。Pythonを使って実際のビッグデータに対して基礎的な分析ができるようになる。データ分析結果の正しさを判断し、データサイエンスで論理的な主張を行えるようになる。

【講義概要】

膨大な非構造化データ、いわゆるビッグデータから、何らかの知見を導き出すデータマイニングについて学修する。連関規則、決定木、クラスタ分析、回帰分析、自己組織化マップ、ニューラルネットなどについて学び、ツールを用いることによっていわゆるAI（弱いAI）を活用することができる水準の技術を獲得する。機械学習についても、教師あり学習、教師なし学習、強化学習の特徴を把握し、自らが行う問題解決に際して、適切な方法を選択できる力量を養う。本講義では、プログラミング言語『Python』を用いたデータマイニングを行う。演習を中心とした授業内容により、データマイニングとAIの基礎技術を学習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	イントロダクション
2	Pythonプログラミング
3	データ収集
4	データ前処理
5	確率統計
6	統計的検定
7	A/Bテスト
8	アルゴリズム
9	回帰
10	分類
11	クラスタリング
12	レコメンド
13	時系列分析、自然言語処理
14	画像分析
15	データ分析コンペ

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合			100%			100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

1985年生まれ。山口県出身。東京大学大学院博士課程修了。博士(学際情報学)。日本学術振興会特別研究員を経て、2013年に日本電信電話株式会社に入社。5Gと自動運転に関する研究開発を経て、現在、中央大学国際情報学部准教授。コンピュータネットワークとAIに関する研究教育活動に従事。

【教科書・参考文献】

吉田雅裕、『Pythonで学ぶはじめてのデータサイエンス』，技術評論社，2023

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Linux I		鈴木俊	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Linuxの利用に必要な基礎知識と基本操作方法（ファイル操作からシステム管理まで）を習得することを目標とする。

【講義概要】

各回、テーマに沿った演習（実機コマンド操作）を実施する。演習の作業証跡（ログや画面キャプチャ）を提出課題とする。使用するLinuxはRedHat系のAlmaLinux8.6とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	Linuxの環境構成、FHSとディレクトリの移動（pwdコマンド、cdコマンドなど）
2	ファイル操作（cpコマンド、mvコマンド、など）
3	メタキャラクタの利用
4	標準入出力とリダイレクト
5	viエディタ
6	ストリームエディタ（sedコマンド、パイプライン）
7	中間試験
8	シェルスクリプト
9	ユーザーとグループの管理
10	所有者管理とアクセス権の設定
11	プロセス管理
12	デバイスとファイルシステムの管理
13	パッケージ管理
14	システム管理
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%			60%		100%

（補足）
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事
携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	LinuxⅡ		鈴木俊	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

WebサーバーやDNSサーバーをはじめとする各種Linuxサーバーの構築技術の習得、また、サーバー公開時におけるセキュリティ知識の習得を目標とする。

【講義概要】

各回、テーマに沿った演習（実機コマンド操作）を実施する。演習の作業証跡（ログや画面キャプチャ）を提出課題とする。使用するLinuxはRedHat系のAlmaLinux8.6とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	Linuxの環境構築
2	ネットワークの設定
3	WEBサーバーの構築（Apacheの導入）
4	WEBサーバーの構築（ApacheのBasic認証、Digest認証の導入）
5	PHPの利用
6	PHPとMariaDBの連携
7	FTPサーバーの構築（VSFTPD）
8	中間試験
9	DNSサーバーの構築（DNS概要、BIND）
10	メールサーバーの構築（Postfix、Dovecot）①
11	メールサーバーの構築（Postfix、Dovecot）②
12	アカウントのセキュリティ（PAM）
13	SSHの公開鍵-秘密鍵を利用した認証
14	Firewalldの設定
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%			60%		100%

（補足）
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事
携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	卒業制作 I		榎本 博文	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

1年半に渡って学んできたプログラミングの知識、技術の総決算として相応しい規模を持ったプログラムを作成する。2～3人のグループを作成し各学生の役割分担を行いグループ作業を学ぶ。

【講義概要】

グループワークを前提として、リーダーを中心に作業を進めるうえでスケジュール管理、プロジェクト管理について指導する。卒業制作発表会および中間発表のためのスライドの作成方法、発表の仕方について学ぶ。

回	授業計画及び学習の内容
1	卒業制作で何を作るか、各グループで相談する。グループリーダーおよび各学生の役割を決定する。
2	第1回卒業制作中間発表の準備 中間発表のための配布資料とプレゼンテーション用スライドの作成
3	第1回卒業制作中間発表
4	卒業論文の書き方の説明 卒業制作のグループ作業の進捗指導
5	卒業制作のグループ作業の進捗指導
6	卒業制作のグループ作業の進捗指導
7	卒業制作のグループ作業の進捗指導
8	第2回卒業制作中間発表の準備 中間発表のための配布資料とプレゼンテーション用スライドの作成
9	第2回卒業制作中間発表
10	卒業制作のグループ作業の進捗指導
11	卒業制作のグループ作業の進捗指導、卒業論文の作成
12	卒業制作のグループ作業の進捗指導、卒業論文の作成
13	卒業制作発表の準備 卒業制作発表のための配布資料とプレゼンテーション用スライドの作成
14	卒業制作発表のためのリハーサル
15	卒業制作発表

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（プレゼンテーション）	合計
割合	60%		20%		20%	100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	卒業制作Ⅱ		榎本 博文	有	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

1年半に渡って学んできたプログラミングの知識、技術の総決算として相応しい規模を持ったプログラムを作成する。2～3人のグループを作成し各学生の役割分担を行いグループ作業を学ぶ。

【講義概要】

グループワークを前提として、リーダーを中心に作業を進めるうえでスケジュール管理、プロジェクト管理について指導する。卒業制作発表会および中間発表のためのスライドの作成方法、発表の仕方について学ぶ。

回	授業計画及び学習の内容
1	卒業制作で何を作るか、各グループで相談する。グループリーダーおよび各学生の役割を決定する。
2	第1回卒業制作中間発表の準備 中間発表のための配布資料とプレゼンテーション用スライドの作成
3	第1回卒業制作中間発表
4	卒業論文の書き方の説明 卒業制作のグループ作業の進捗指導
5	卒業制作のグループ作業の進捗指導
6	卒業制作のグループ作業の進捗指導
7	卒業制作のグループ作業の進捗指導
8	第2回卒業制作中間発表の準備 中間発表のための配布資料とプレゼンテーション用スライドの作成
9	第2回卒業制作中間発表
10	卒業制作のグループ作業の進捗指導
11	卒業制作のグループ作業の進捗指導、卒業論文の作成
12	卒業制作のグループ作業の進捗指導、卒業論文の作成
13	卒業制作発表の準備 卒業制作発表のための配布資料とプレゼンテーション用スライドの作成
14	卒業制作発表のためのリハーサル
15	卒業制作発表

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（プレゼンテーション）	合計
割合	60%		20%		20%	100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	実習	Office実務Ⅱ	佐藤 薫	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Officeの基本操作を定着させ、さらに応用機能を習得してスキルアップを目指す。さまざまな種類のビジネス文書を作成する能力を身に付けることが目標。

【講義概要】

ビジネスシーンを想定した課題を4~5問作成する。課題となる文書の目的を意識して作成し、最後に印刷プレビューで仕上がりを確認してから提出すること。

回	授業計画及び学習の内容
1	売上集計表、売上に関する2グラフ (Lesson16~19) / 定型のビジネス文書の作成 (1)
2	売上日報、支店別売上実績表、時間帯別客単価 / 定型のビジネス文書の作成 (2)
3	仕入予定表、売上予算管理、季節指数計算 / 既存の文書を編集して仕上げる
4	在庫管理表、月間勤務表 / 表の入った文書の作成
5	在庫棚卸表、販売店別売上表、売上成績比較 / 複雑な表の入った文書の作成
6	顧客別売上集計、全店経費集計、店舗別集計/ ビジュアルな文書の作成 (1)
7	申込記録表、アンケート・売上のクロス集計 / ビジュアルな文書の作成 (2)
8	グラフ作成 (推移、比率、複合、予測)、スパークライン / 配布資料の管理
9	ヒストグラム、パレート図 / 外部データの活用、差し込み印刷
10	受注一覧、発注一覧、出荷伝票/ 長文作成に役立つ機能 (アウトライン、スタイル)
11	支払予定一覧、売上台帳 / プレゼンテーション基礎 (スライド作成、デザイン)
12	売上分析、見積書、請求書 / プレゼンテーション応用 (マスター、外部データの利用)
13	会議室予約、請求書の自動作成 (マクロ) / 総合練習問題
14	まとめ
15	まとめ

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	90%			10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

スキルアップ問題集 (FOM出版) ※1年次と同じ、Excel2019ビジネス活用ドリル (日経BP)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	Webリテラシー	榎本 博文	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

マルチメディアを中心とした関連技術のプロフェッショナルになる「基礎知識」習得を目指し、知識の整理を行ないながら情報化社会の「利点と欠点」を正しく理解し情報を活用する能力を身につける

【講義概要】

溢れる情報の中から、本質を見抜くためには基本的な知識が重要となる。初学者にも理解できるよう、環境・技術・ビジネスの変化をテーマに、文字、画像、音声、動画などの、コンテンツ制作からWebサイトの構築など、ITやマルチメディア全般に関わる幅広い内容を学習する。「Web検定 Webリテラシー」合格者は授業免除。

回	授業計画及び学習の内容
1	リテラシーとは？ 情報化社会の「利点と欠点」について
2	SNSやYouTubeなどのメリットとデメリットについて
3	第1章 Webの基礎知識1 WWWの仕組み。コミュニケーションとしてのWeb。
4	第1章 身近なインターネットについて調べる。(ベンチマーキング)
5	第3章 インターネットビジネス 確認小テスト ビジネスモデル、ビジネス構造
6	第3章 プロジェクトマネジメント プロジェクトマネジメントの必要性とは
7	第3章 プロジェクトマネジメントを意識したグループワーク
8	中間試験 (第1章～第3章)
9	第4章 Webサイトの企画・設計 ワークフローと現状分析
10	第4章 情報アーキテクチャ設計、効果検証と指標。
11	第5章 Webデザイン・制作実務 Webコンテンツを構成する素材、素材の集め方
12	第6章 Webマーケティング Webマーケティングの全体像
13	第6章 SEO、LP0について、情報の共有、ネットビジネス、セキュリティ対策
14	期末試験対策講座
15	期末試験 (第4章～第6章)

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	70%	10%		20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。

【教科書・参考文献】

ウェブの仕事力が上がる標準ガイドブック 1 Webリテラシー 第3版

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ITパスポート対策Ⅱ		成田 与志子	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ITパスポート試験合格を目標とする

【講義概要】

ITパスポート試験の対策を行う。用語と過去問を理解し、合格を目指す。

回	授業計画及び学習の内容
1	疑似言語 記述の規則
2	疑似言語 プログラムの読み方
3	マネジメント 開発技術。 過去問練習
4	マネジメント プロジェクトマネジメント。 過去問練習
5	マネジメント サービスマネジメント。 過去問練習
6	ITパスポート 令和3年過去問題の解説
7	中間試験
8	テクノロジー 基礎理論。 過去問練習
9	テクノロジー 技術要素。 過去問練習
10	テクノロジー コンピュータシステム。 過去問練習
11	ストラテジ 経営戦略。 過去問練習
12	ストラテジ 企業と法務。 過去問練習
13	ストラテジ システム戦略。 過去問練習
14	ITパスポート 令和4年過去問題の解説
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

令和4年度秋期 ITパスポート過去問題集 間久保 恭子著

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	一般常識 I	唐戸 民雄	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本的な計算力、一般的な漢字の読み、社会科系統・理科系統の基本的な知識を再確認する。

【講義概要】

言語事項の確認、社会科系統（地理・歴史・政治経済）、理科系統（物理・化学・地学・生物）などの基礎知識、就職試験、SPIなどでも出題される早さ、通貨算、鶴亀算などを確認する。毎回、確認テストを行う。

回	授業計画及び学習の内容			
1	言語事項の確認1	社会科系統1	理数系統1	確認テスト1
2	言語事項の確認2	社会科系統2	理数系統2	確認テスト2
3	言語事項の確認3	社会科系統3	理数系統3	確認テスト3
4	言語事項の確認4	社会科系統4	理数系統4	確認テスト4
5	言語事項の確認5	社会科系統5	理数系統5	確認テスト5
6	言語事項の確認6	社会科系統6	理数系統6	確認テスト6
7	言語事項の確認7	社会科系統7	理数系統7	確認テスト7
8	中間試験			
9	言語事項の確認8	社会科系統8	理数系統8	確認テスト8
10	言語事項の確認9	社会科系統9	理数系統9	確認テスト9
11	言語事項の確認10	社会科系統10	理数系統10	確認テスト10
12	言語事項の確認11	社会科系統11	理数系統11	確認テスト11
13	言語事項の確認12	社会科系統12	理数系統12	確認テスト12
14	言語事項の確認13	社会科系統13	理数系統13	確認テスト13
15	期末試験			

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

授業時にプリントを配付する。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	一般常識Ⅱ	唐戸 民雄	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本的な計算力、一般的な漢字の読み、社会科系統・理科系統の基本的な知識を再確認する。

【講義概要】

言語事項の確認、社会科系統（地理・歴史・政治経済）、理科系統（物理・化学・地学・生物）などの基礎知識、就職試験、SPIなどでも出題される早さ、通貨算、鶴亀算などを確認する。毎回、確認テストを行う。

回	授業計画及び学習の内容			
1	言語事項の確認1	社会科系統1	理数系統1	確認テスト1
2	言語事項の確認2	社会科系統2	理数系統2	確認テスト2
3	言語事項の確認3	社会科系統3	理数系統3	確認テスト3
4	言語事項の確認4	社会科系統4	理数系統4	確認テスト4
5	言語事項の確認5	社会科系統5	理数系統5	確認テスト5
6	言語事項の確認6	社会科系統6	理数系統6	確認テスト6
7	言語事項の確認7	社会科系統7	理数系統7	確認テスト7
8	中間試験			
9	言語事項の確認8	社会科系統8	理数系統8	確認テスト8
10	言語事項の確認9	社会科系統9	理数系統9	確認テスト9
11	言語事項の確認10	社会科系統10	理数系統10	確認テスト10
12	言語事項の確認11	社会科系統11	理数系統11	確認テスト11
13	言語事項の確認12	社会科系統12	理数系統12	確認テスト12
14	言語事項の確認13	社会科系統13	理数系統13	確認テスト13
15	期末試験			

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

授業時にプリントを配付する。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎英語Ⅱ	茂木康有 Tope Salami	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

1. Python English 2年目のクラスなので、英語を感覚で理解できるようにする。
2. Pythonプログラミングを英語で理解し、英語で説明できるようにする。

【講義概要】

90分授業を前半と後半に分け、前半は日本人講師による英語の考え方、伝え方、パイソン用語などを日本語で解説。後半は、英語母語の講師により実際にパソコンを使ったPythonプログラミング実習を英語で行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	前学期の復習1
2	前学期の復習2
3	Choosing mnemonic variable names
4	Logical operators
5	Conditional execution
6	Alternative execution
7	Chained Conditionals
8	Nested Conditionals
9	Catching exceptions using try and except
10	Debugging
11	Make a game 1
12	Make a game 2
13	Functions
14	Function calls
15	Review

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	100%					100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
 - ・難問により平均点が低ければ出席率を加点考慮対象とする

【教員紹介】

茂木康有 (Steve Mogi) : アメリカ、ドイツ、オーストラリア企業に約20年勤務ののち2010年ICT教育研修研究所を設立。現在は各種英語科目を専門学校等へ提供。また、コミュニケーション関連研修を各種企業へ提供。
Tope Salami : IT関連会社運営、カナダ、サウジアラビア、日本で合計9年の英語関連、Pythonプログラミング関連の実務経験。生徒が授業に積極的に参加する雰囲気作りに情熱を注いでいる。

【教科書・参考文献】

Trinket - Python Book

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	表現技法	唐戸 民雄	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

前半では日本語についての再確認をする。些細なことでもかまわないので、自分たちの言葉についての意識を持って欲しい。後半は、社会人として仕事していく上での基本、ビジネス文書について学ぶ。

【講義概要】

普段使っている日本語を見直す。また、ビジネスの現場での文書の意義、働き、流れ等を確認する。社会人としての基本を身につける。毎回、日本語の語彙に関する確認の小テストを行う。その他、適宜、講義内容に関連する新たな話題を紹介することもある。大きくシラバスから逸脱することはないが、内容が少し変わることもある。

回	授業計画及び学習の内容
1	表現とは何か
2	表現本能 表現行為 言語について
3	日本語について1 他言語との比較 日本語の特徴 語彙の面から①
4	日本語の特徴 語彙の面から② 表記の面から など
5	日本語の文体 音声言語と文字言語の相違
6	文章の構成 横書き原稿用紙の使い方
7	読点の付け方 中間試験対策
8	中間試験
9	ビジネス文書 概説 問題演習
10	ビジネス文書 社内文書① 問題演習
11	ビジネス文書 社内文書② 問題演習
12	ビジネス文書 社外文書① 問題演習
13	ビジネス文書 社外文書② 問題演習
14	ビジネス文書 まとめ 確認演習問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

授業時にプリントを配布する。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2023年		2年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅱ	情報処理科担当教員	無	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。
 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。
 心身の健全な育成を目指しています。

【講義概要】

この授業は、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	学園祭準備（1日目、2日目）
3	
4	
5	学園祭（1日目）
6	
7	
8	学園祭（2日目）、後片付け
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席と取り組む姿勢）	合計
割合					100%	100%

（補足） ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】